

家庭

地域

職場

学校

身近なところから始めよう

—男女共同参画社会の実現に向けて—

これからの地域活性化の鍵は、男女共同参画社会の実現にあります。
「男性だから、女性だから」といって、役割や出番が決められるのではなく、一人ひとりが能力に応じて、責任を担う社会を目指しましょう。

<テーマ>

- ① 性別による役割分担意識の解消
- ② 男女が共に子育てや家事、介護ができる社会
- ③ リーダーとなる女性の養成
- ④ 自治会の活動に女性の意見を反映
- ⑤ 災害時の備え
- ⑥ ワークライフバランス（仕事と生活の調和）の推進

勝山市男女共同ネットワークでは、15の加盟団体の情報交換を図るとともに、参加者が班に分かれて、男女共同参画社会の実現を図るための意見交換会を実施しました。

2月4日、すこやかで開催された意見交換会には、30人が参加し、男女共同参画に関する6つのテーマに沿って、活発な意見や提案が出されました。その意見や提案をご紹介します。

■テーマ1、2
性別による役割分担意識の解消
男女が共に子育てや家事、介護ができる社会

女性だけで食事の準備や片付けをいませんか？
男性だけで
仕切っていませんか？

・昔前は「男は台所に立つのもダメ」という風潮もあったが、最近の若い夫婦は家事にも協力的。
・地域など社会の中では男女の役割分担意識が残っているように感じる。
・「男性らしさ」「女性らしさ」

■テーマ5
災害時の備え

男女双方の視点を防災に取り入れていますか？
高齢者や女性が防災訓練に参加していますか？

・東日本大震災や阪神・淡路大震災では、近所の人に助けを求めたという話を聞く。
・地域の絆となっている子ども会や婦人会、壮年会、老人会などの地域の会が、それぞれ連携できれば、いざというときに助け合える。
・防災訓練に中学生や女性も参加して、消化器の使い方を習った地区もある。
・親子で一緒に取り組めば、子どもは自然と親の姿を見て、地域のことを知ることになる。
・火事があったときに、婦人会で炊き出しをしていた。男性ではなかなか気づかなかった。普段からの繋がりが活動があるからできた。
・避難訓練や防災体制の構築の際に、女性の意見がしっかりと反映されれば、安心して普段の生活が送れる。

があるのは良いこと。
「男だから」「女だから」という考え方が強いと、今の時代には通用しない。

■テーマ3
リーダーとなる女性の養成

自治会の役員に
女性が入っていますか？
役員は男性がするものと決めていますか？

・「区長や町内会長、役員などを女性自身が自らする」という心構えも大事。
・いきなり役を担っても大変なので、補佐役を付けるなど、体制づくりが必要。
・現在の人数にプラスして、地区役員に女性を登用してはどうか。体制をつくってしまえば、男性も女性も意識が変わる。
・地区に貢献する意味でも、まずは地区内の様々な活動に参加し、小さな団体でも加入することから始めるといい。
・会費や労力は授業料のようなもの。地区の壮年会や婦人会などに入ることで、子どもがそれを見て育つし、

■テーマ6
ワークライフバランス（仕事と生活の調和）の推進

家庭や職場で
女性が協力をしていますか？
女性が自分の活動時間を
持っていますか？

・家事を分担するなど、男性が背中を押してくれると、女性は色々な活動に参加できる。
・男性や家族の協力があれば、女性は外に出て様々な活動ができる。
・男性でもある程度家事をこなせるように、子どもの頃から手伝わせるといい。
・家の中のことをお互いにかき合えるのが一番いい。そこには、お互いに思いやれる気持ちが大切で、感謝の気持ち「ありがとう」と言ってくれることで元気になるし、次に繋がっていく。

未来創造課



地域との繋がりの中で子どもを育ててもらえる。
・地域との繋がりが強くなれば、女性の意見が反映されるようになる。
・地域の情報や人との繋がりが豊富な女性が必ずいる。そのような魅力ある人を活用しないのはもったいない。
・女性が区長や役員になれば、新たな視点で地区が活性化する。

■テーマ4
自治会の活動に女性の意見を反映

町内会の総会などに
女性が参加していますか？
女性が地域活動に
参加していますか？

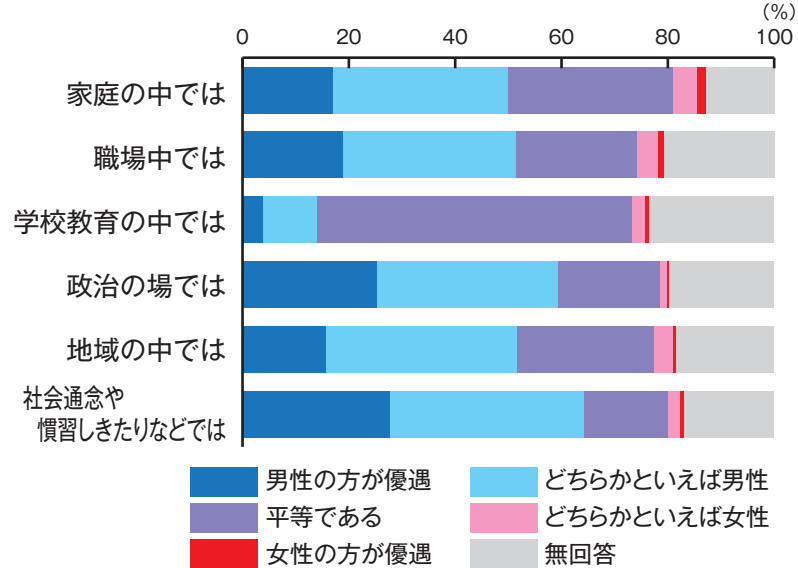
・地区の会議への参加は確かに男性がほとんど。大抵は世帯で1名参加なので、家の代表である男性が参加している。
・昔からの「女性が意見を言うことで家の恥になる」という考えがあるのかもしれない。

・誰かが気軽に参加できるように体制づくりが必要。直接意見を言えるようになる。
・学校では男女共同が進んでいる。これから地域に浸透していくのではないかと。
・男性と女性が一緒になって地域の課題に対して意見を反映することで、新しい視点での取り組みが生まれ、地域の活性化に繋がる。



意見交換会の様子

今の社会における男女の地位についてどう思いますか？



平成21年度に実施した第5次勝山市総合計画策定のための市民アンケートによると、学校教育の中では約60%の方が平等と感じているものの、それ以外の家庭、職場、地域、社会通念や慣習の分野では、5割以上が男性の方が優遇されていると感じています。

勝山市男女共同ネットワークとは

男女共同参画社会の実現を図るため、社会に奉仕し、地域発展に寄与しています。

【参加団体】15団体（順不同）

- J Aテラル越前女性部
- 勝山市赤十字奉仕団
- 勝山市更生保護女性会・婦人福祉協議会
- 勝山市食生活改善推進員連絡協議会
- 勝山市職員組合
- 勝山市教職員組合
- 勝山市交通安全母の会
- 勝山市消費者団体連絡協議会
- 退職公務員連盟勝山支部
- 勝山市高齢者連合会
- 勝山商工会議所女性会
- 勝山地域ファミリーサービスクラブ
- ふくいソフィア勝山支部
- 勝山農村女性の共同参画を進める会
- 勝山青年会議所